

広島県内の感染状況

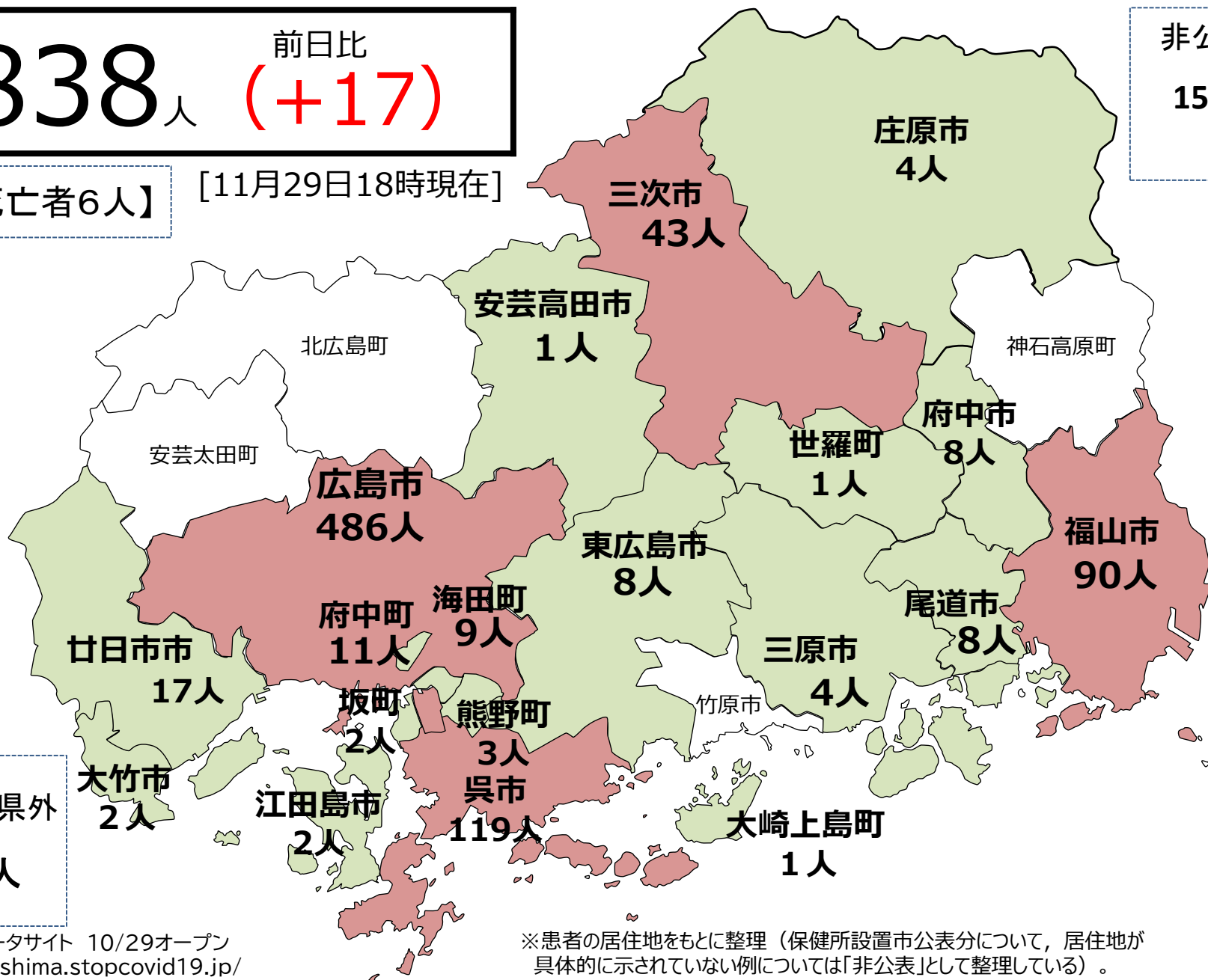
(令和2年11月29日時点)

新型コロナウイルス感染症患者の状況（広島県発表分）

延**838**人 前日比 **(+17)**

【うち死亡者6人】 [11月29日18時現在]

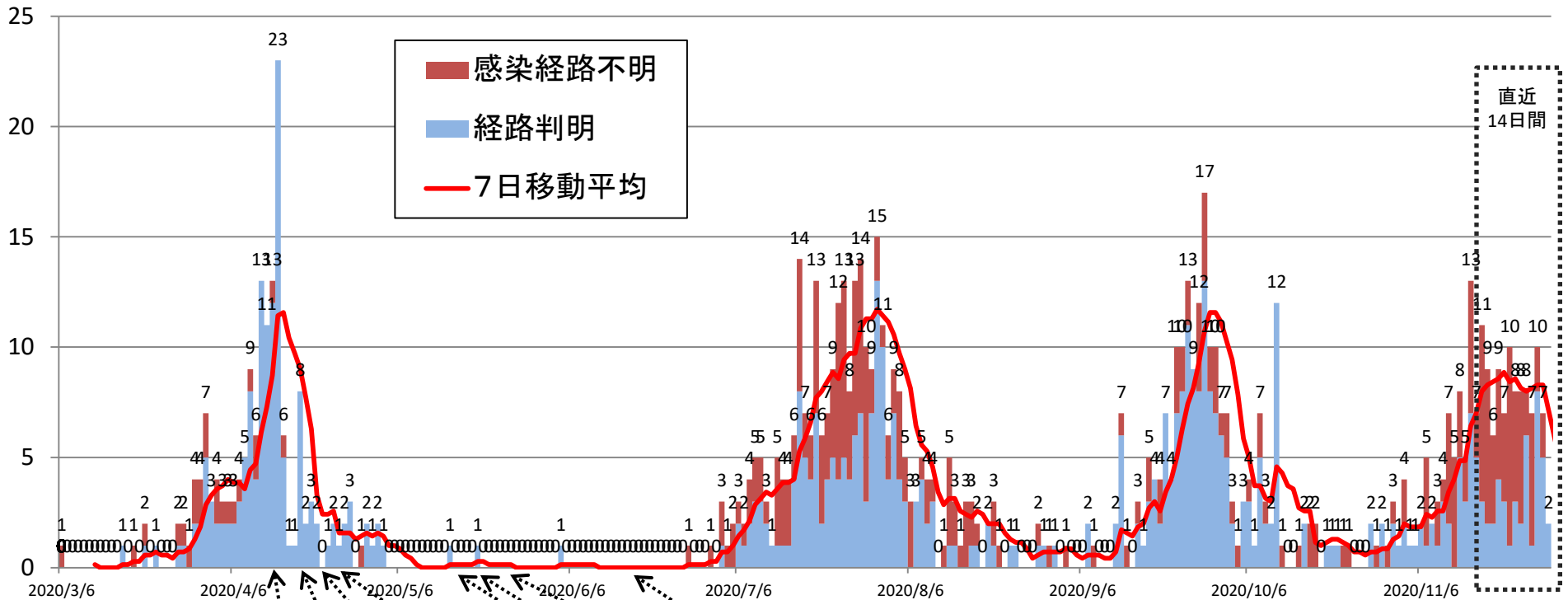
非公表
15人



新型コロナウイルス感染症患者の推移（広島県）

【発症日別（無症状は判明日で整理）】

11月29日18時整理

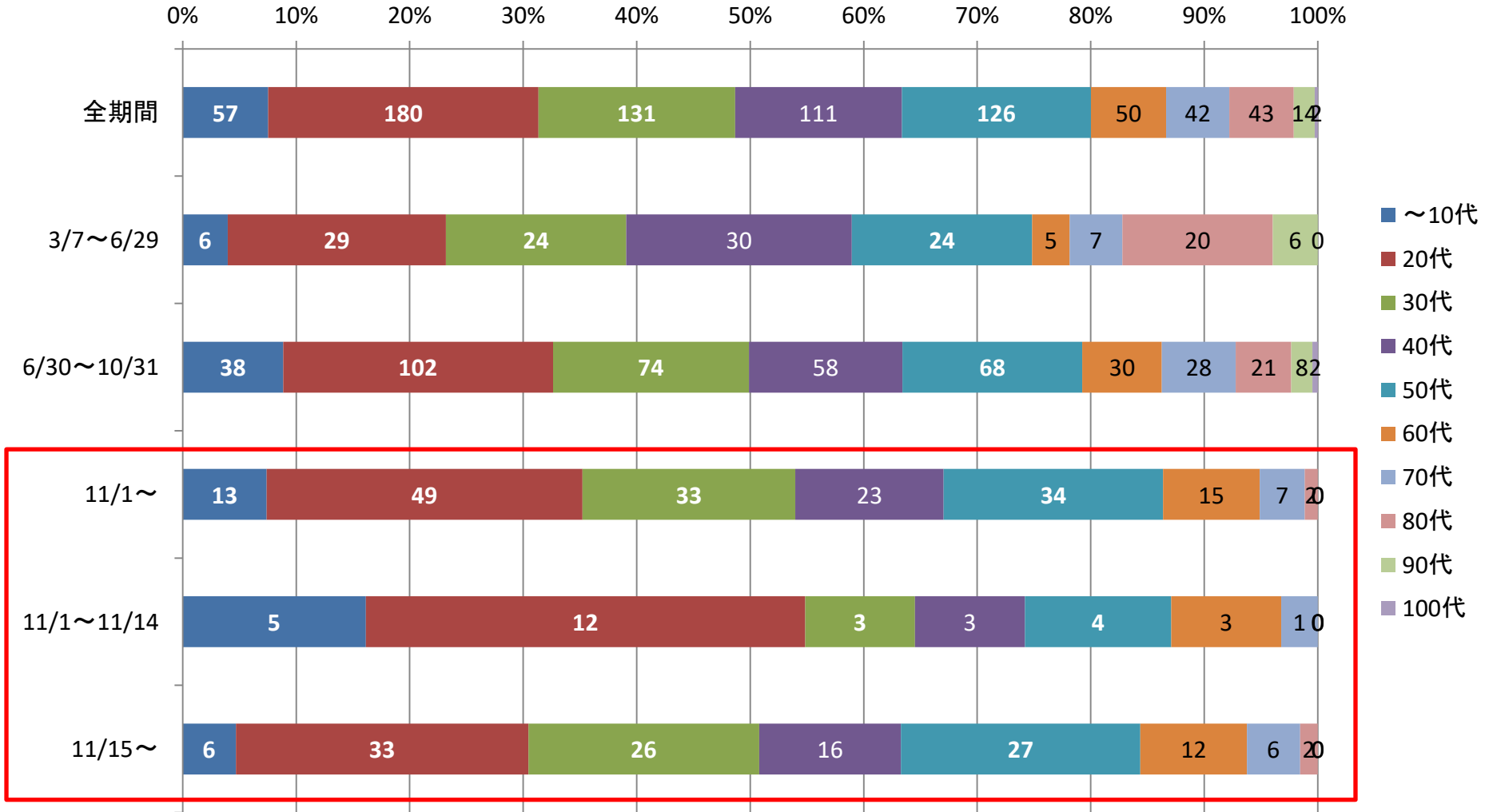


- 4/10 県週末外出自粛要請
- 4/13 県感染拡大警戒宣言
- 4/16 国緊急事態宣言
- 4/18 県緊急事態措置宣言
- 5/14 国緊急事態宣言を39県解除
- 5/15 県緊急事態措置宣言を解除
- 5/25 国緊急事態宣言を全国解除
- 6/19 国移動自粛を全面解除

新型コロナウイルス感染症患者の状況（広島県） 【年代別】

11月29日18時整理

※非公表は除外



指標等の状況

(令和2年11月29日時点)

8/7政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の参考指標

本県の現状

①参考
最大確保病床数に対する使用率
8.4%(101/病500+ホ700)

指標	現状	前日比	評価
①病床ひっ迫具合	使用率 26.2% (101/病236+ホ150) 〔入院病床の使用率 36.4% (86/236)〕	 (+2.9%)	➤ 現時点の確保の1/4を上回る (ホテル空床率は90.0%)
②療養者数 (10万人当たり)	3.91人 〔11/29時点〕 (110/28.11) (自宅療養を除くと3.59人)	 (+0.46人)	➤ 警戒基準値6人を下回る ➤ 15人を下回る
③PCR陽性率	2.5% 〔直近7日移動平均〕 〔11/26時点〕		➤ 10%を下回る
④新規報告数 (直近1週間の10万人当たり)	2.70人 〔11/23～11/29〕 (76/28.11) (公表日基準だと3.13人)	 (▲0.29人)	➤ 警戒基準値4人を下回る ➤ 15人を下回る
⑤直近1週間の 先週比較	今週 76人 〔11/23～11/29〕 先週 56人 〔11/16～11/22〕 (公表日基準だと88人/50人)	 (▲8人)	➤ 先週と比較して増加
⑥感染経路不明割合	55.3% 〔直近7日移動平均〕 43.9% 〔6/30～11/29の累計〕 (公表日基準だと56.8%)	 (▲6.5%)	➤ 50%を上回る

①参考

最大確保病床数に対する使用率
8.4% (101/病500+ホ700)

①病床使用率

➤ 現時点の確保の1/4を上回る
(ホテル空床率は90.0%)

各時点での稼働病床で算出。

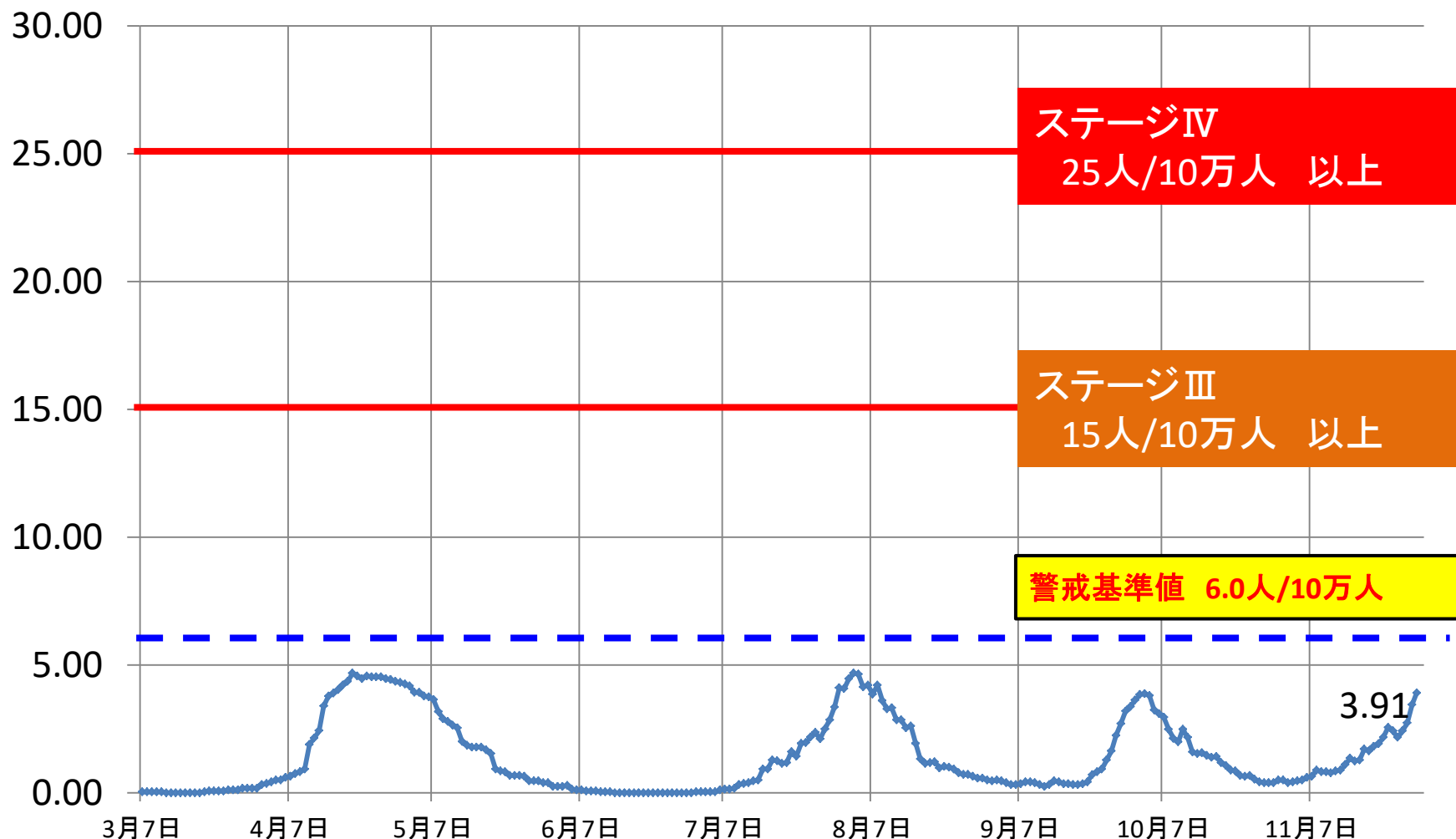
現時点で、ホテル(150室)も含めると、使用率は**26.2%**で25%を上回る。



②全療養者数 (人口10万人当たり)

評価

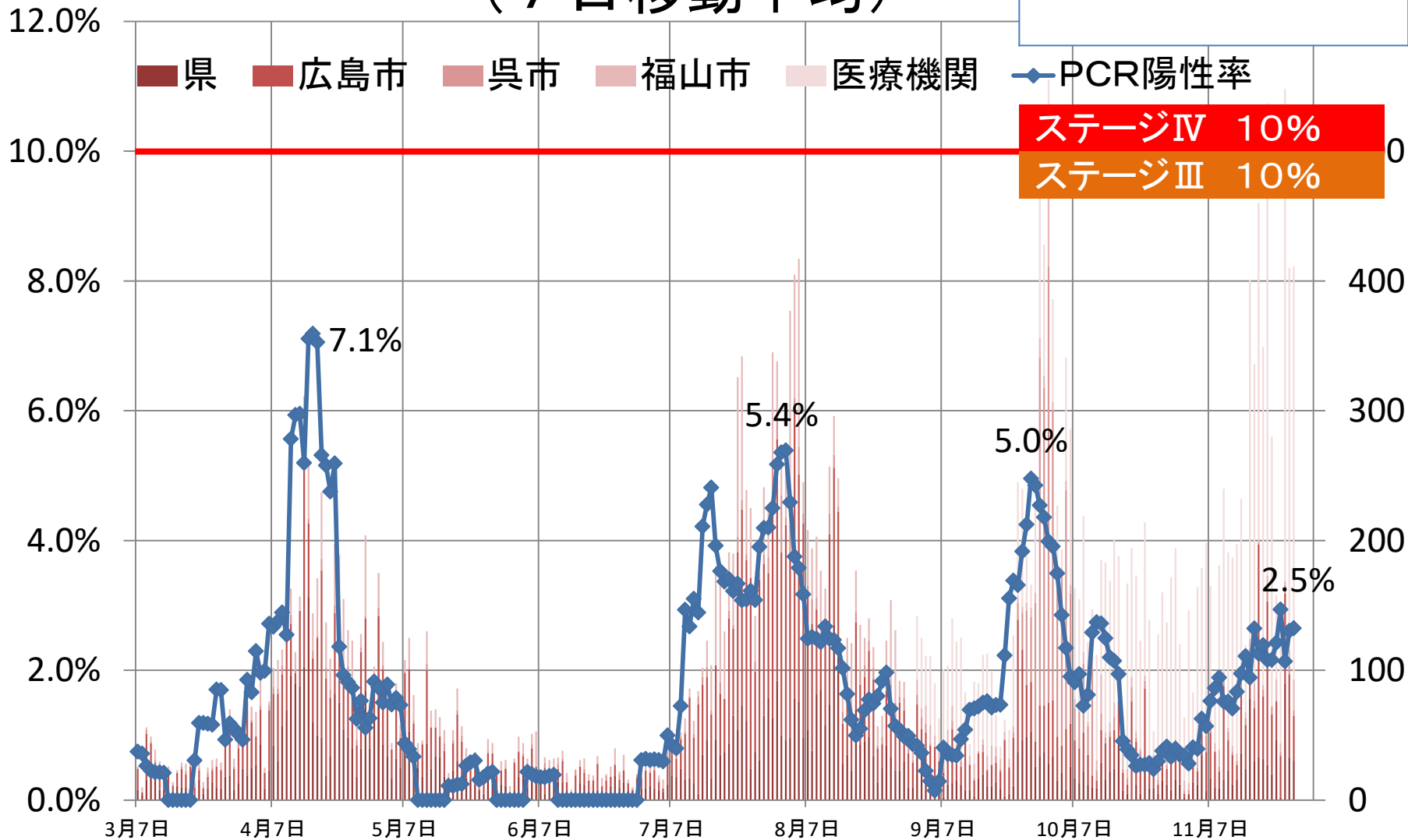
➤ 15人を下回る



(自宅療養を除くと3.59)

③PCR陽性率 (7日移動平均)

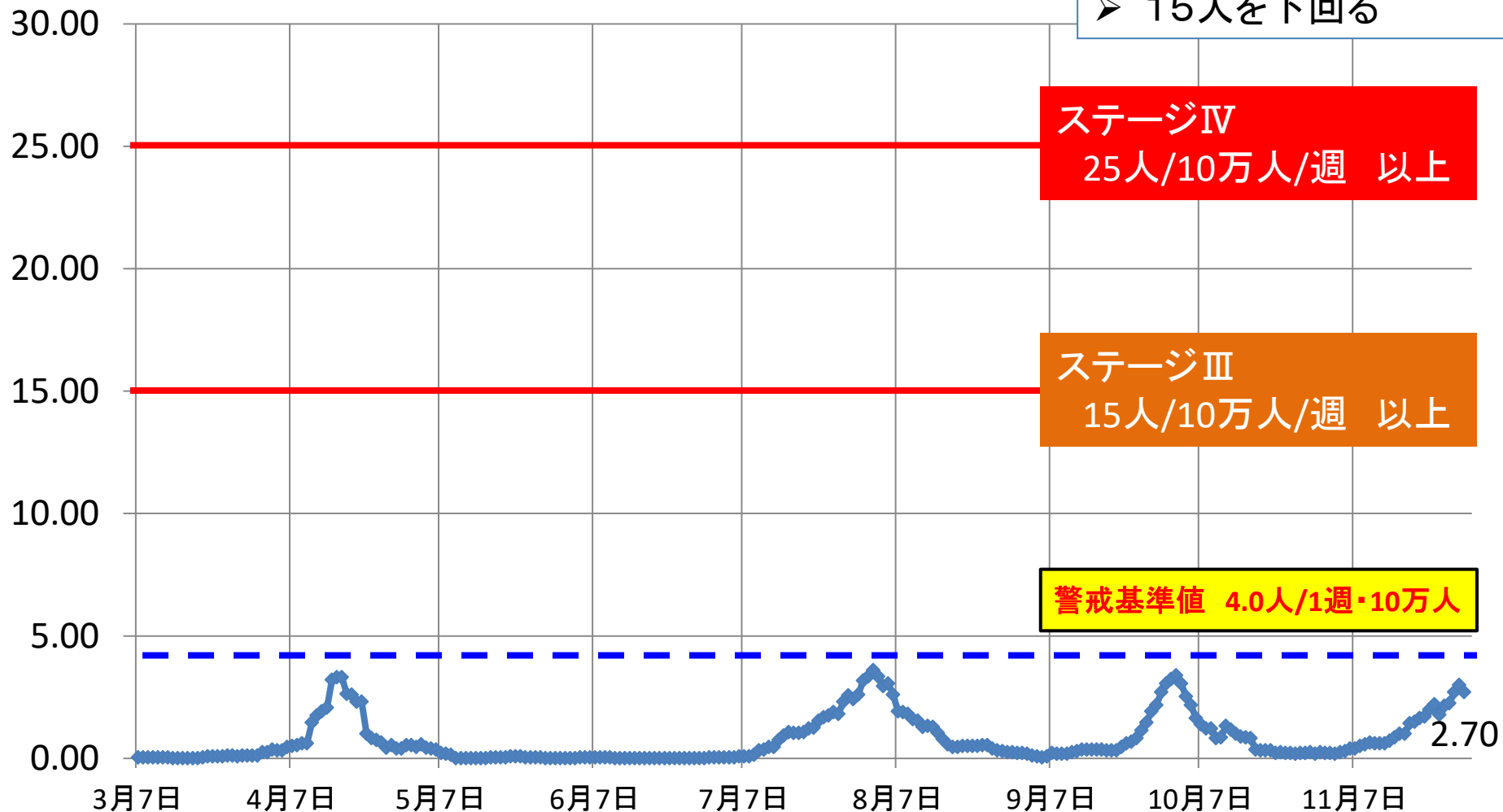
評価
➤ 10%を下回る



④直近1週間の人口10万人当たり 新規報告数

評価

- 警戒基準値4人を下回る
- 15人を下回る



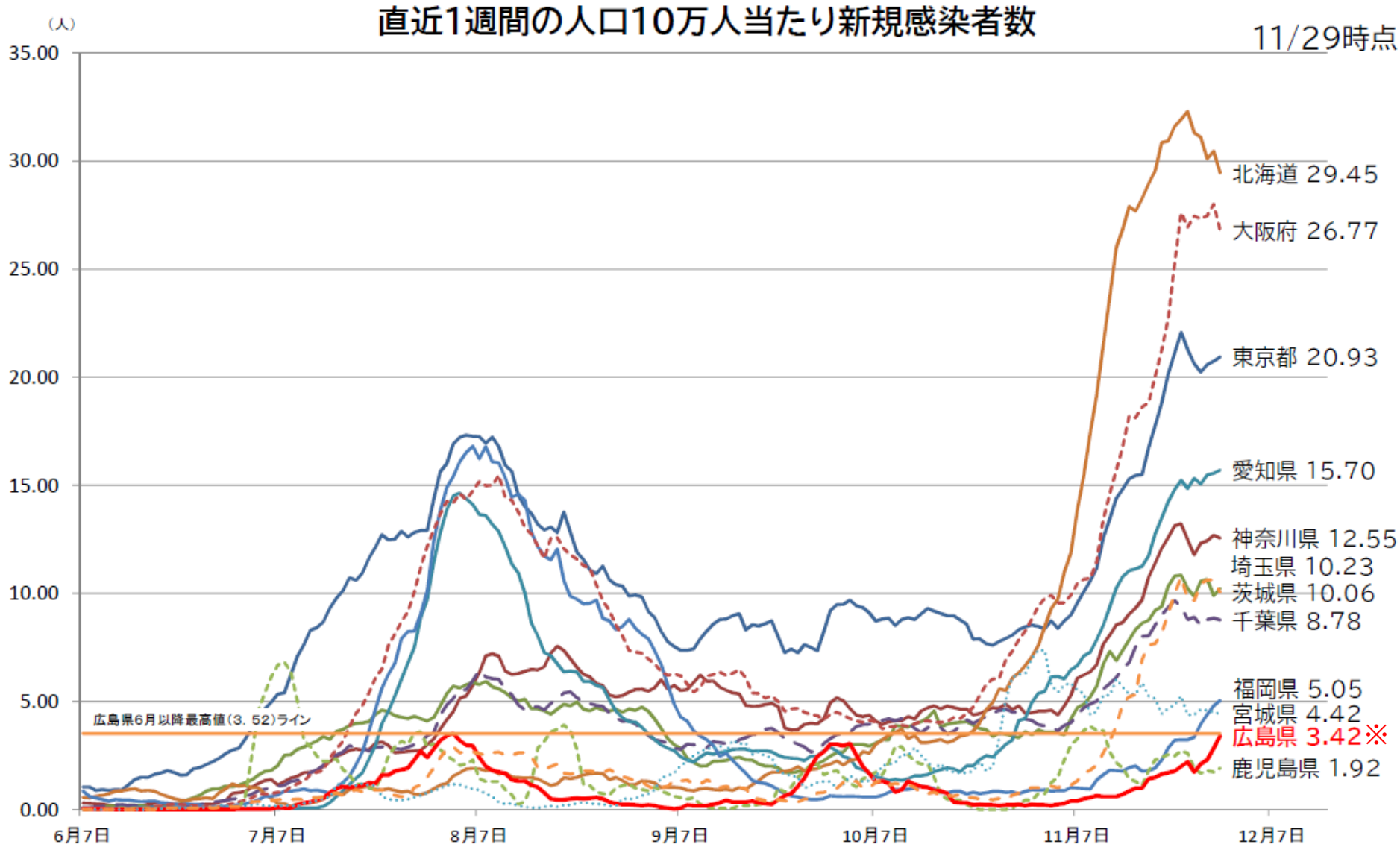
ステージⅣ
25人/10万人/週 以上

ステージⅢ
15人/10万人/週 以上

警戒基準値 4.0人/1週・10万人

公表日基準だと3.13人

主要都道府県の推移 (各都道府県の公表日ベース)

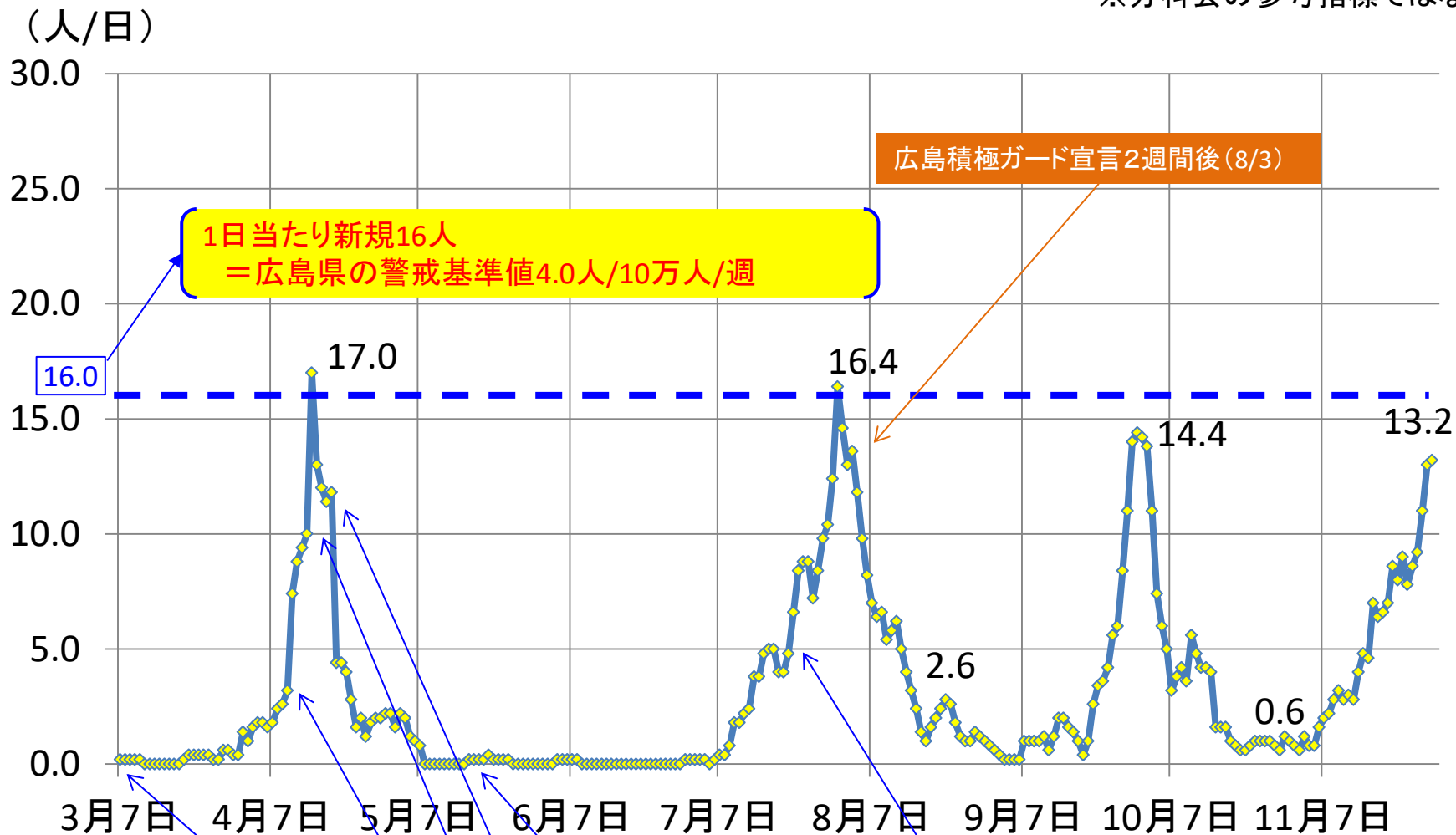


※広島県11/29 23:59時点の公表数(25名)を反映 (11/29 18:00時点での公表数は17名で、3.13である)

新規患者数（5日移動平均）

参考

※分科会の参考指標ではない



1日当たり新規16人
=広島県の警戒基準値4.0人/10万人/週

広島積極ガード宣言2週間後(8/3)

県内感染者初確認(3/7)

県週末外出自粛要請(4/10)

県感染拡大警戒宣言(4/13)

県緊急事態措置宣言(4/18)

休業等の要請一部解除(5/15)

県緊急事態宣言解除(5/15)

広島積極ガード宣言(7/21)

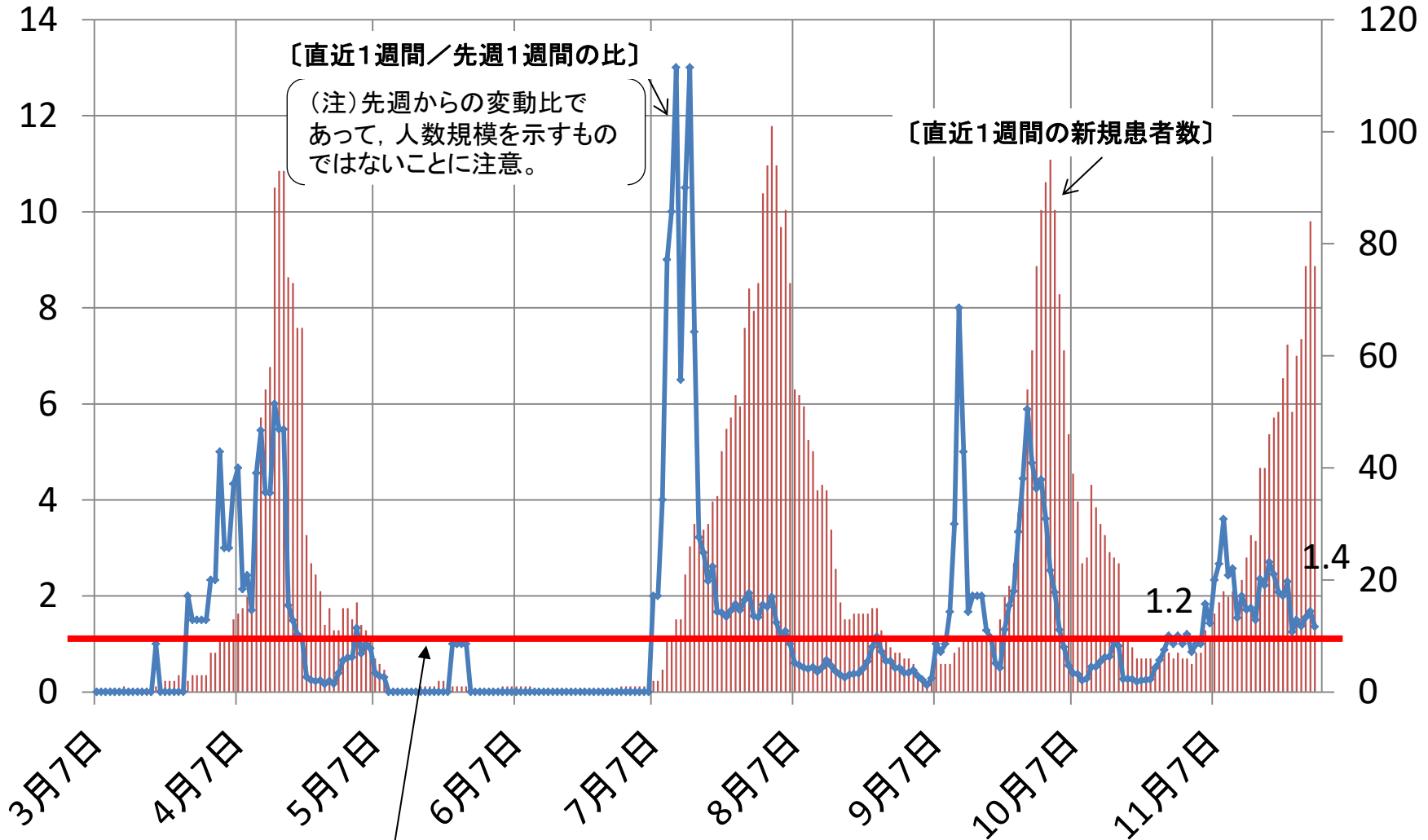
⑤直近 1 週間と先週 1 週間の比較

➤ 先週と比較し増加

[直近1週間／先週1週間 で算出]

[直近1週間／先週1週間の比]

[直近1週間の新規患者数]



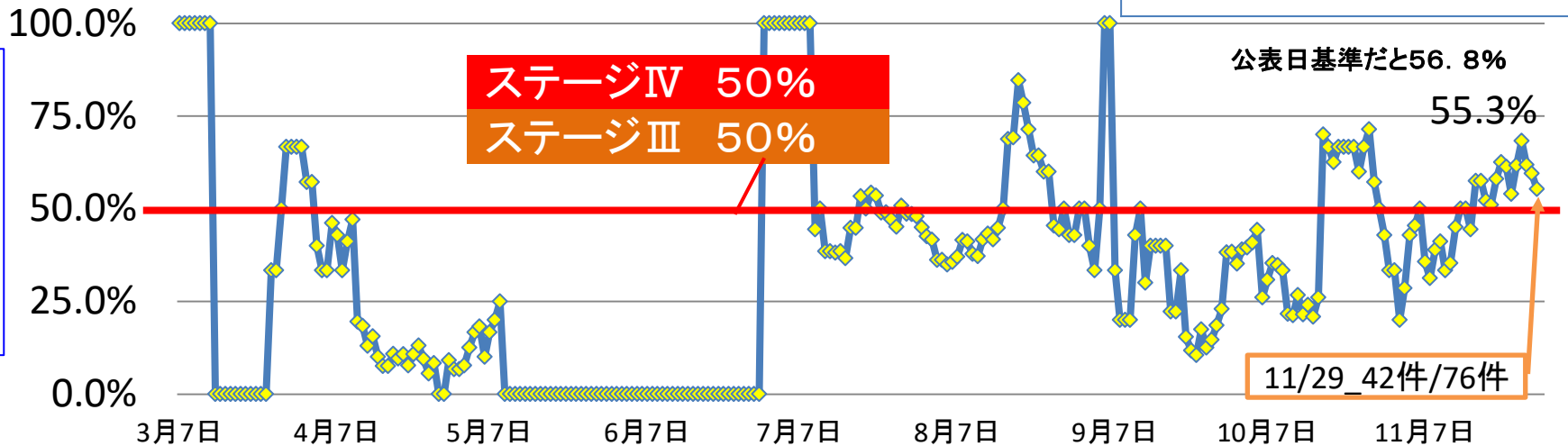
1を超えると先週より多い

⑥感染経路不明数の割合

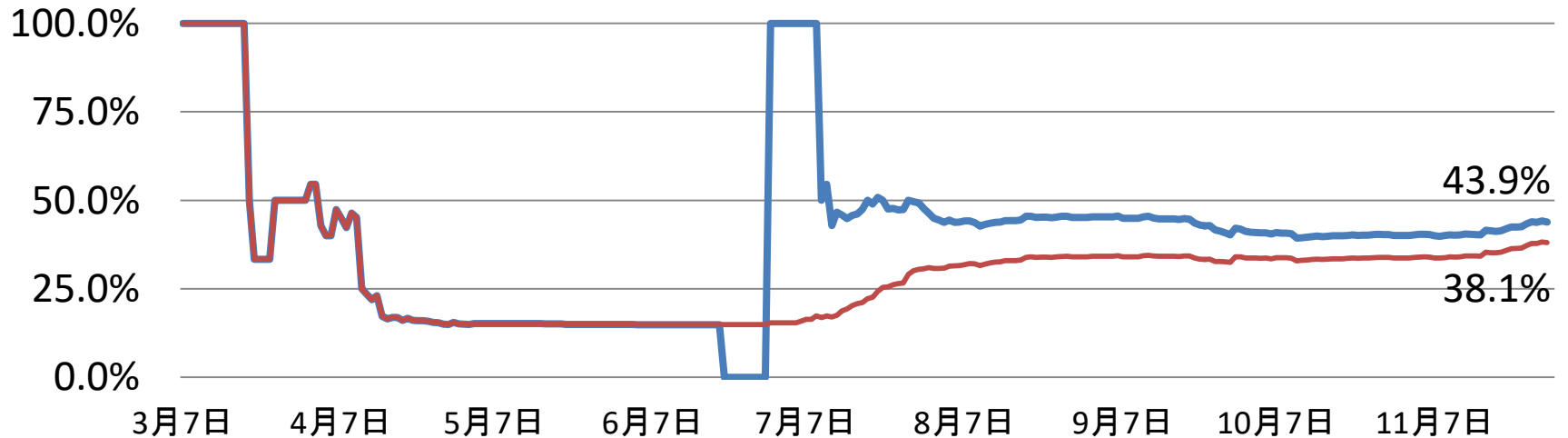
評価

➤ 50%を上回る

7日移動平均



累計



— 感染経路不明数の割合 (リセットあり)

— 感染経路不明数の割合

8/7政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の参考指標

以下の指標は目安であり、また、これらの指標をもって機械的に判断するのではなく、国や都道府県はこれらの指標を総合的に判断していただきたい。

	医療提供体制等の負荷		②療養者数	監視体制 ③PCR陽性率	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合 ^{注3}				④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較	⑥感染経路不明割合
	病床全体	うち重症者用病床					
ステージⅢの指標	・最大確保病床の占有率 1/5 以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4 以上 <small>※最大確保病床とは、都道府県がピーク時に向けて確保しようとしている病床数をいう。現時点の確保病床数とは、現時点において都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数であり、直近に追加確保できる見込みがある場合はその病床分も追加して確認する。</small>	・最大確保病床の占有率 1/5 以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4 以上	人口10万人当たりの全療養者数15人以上 <small>※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数</small>	10%	15人/10万人/週 以上	直近一週間が先週一週間より多い。	50%
ステージⅣの指標	・最大確保病床の占有率 1/2 以上	・最大確保病床の占有率 1/2 以上	人口10万人当たりの全療養者数25人以上 <small>※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数</small>	10%	25人/10万人/週 以上	直近一週間が先週一週間より多い。	50%

注1 日々の入手可能性を踏まえつつ、発症日での検討結果も考慮する。

注2 大都市圏については、医療提供体制の負荷を見るための指標として救急搬送困難事例、監視体制をみるための指標として発症から診断までの日数についても参考指標として確認する。また、補助指標としてECMO装着数、人工呼吸器装着数(ECMO除く)、60歳以上新規報告数も参考とする。

注3 「①病床のひっ迫具合」の指標の総合的な判断にあたっては、直近の感染スピード等を勘案する必要があり、その速度が速く、この指標を満たした場合には少なくとも対策が必要となるものである。こうしたことも踏まえて、目安に満たない段階から、早めの対応を行うことが望ましい。一方で、継続的な感染の拡大が見られない時など、その速度の状況によっては、病床の占有率のみで判断をせず、特に総合的に判断することが望ましい。⁵

ステージ1: 感染者散発的発生。医療支障なし
 ステージ2: 感染者増加。医療負荷が蓄積
 ステージ3: 感染者急増。医療支障を避ける措置必要
 ステージ4: 爆発的感染。医療機能不全を避ける措置必要

【講ずべき施策の提案】

ステージ3: 飲食店の人数制限, イベント見直し, 酒提供店の利用自粛要請
 ステージ4: 緊急事態宣言の検討, 外出自粛要請, 学校休校の検討